



アイエックス・ナレッジ株式会社

JASDAQ (9753)

**2009年3月期**

**決算説明会**

2009年5月25日

---

## ご説明内容

- 2009年3月期 決算の概要
  - 2010年3月期 業績の見通し
  - 今後の施策について
-

**2009年3月期**

**決算の概要**

## ■ 2008年

**4月** 新入社員72名、海外(インド、中国)からも受入れ

**10月** 中国・大連のIT指導者と会談(09/3月、済南でも)

## ■ 2009年

**3月** 情報セキュリティ教育教材  
『百合子先生のeラーニング』を中国でサービス提供

**3月** 夕食メニューなどの調査サービス『ディナー・サーベイ』を開始

**3月** 情報セキュリティマネジメントシステム(ISO/IEC27001)認証取得

**3月** 連結子会社 アイエックスときわテクノロジー(ITTEC)の吸収合併  
で基本合意

■ リーマンショックを機に市場環境が一段と悪化

■ 受注・売上が期末にかけて大幅に減少

■ ITTECでシステム開発案件の大幅赤字が発生

■ 特別損失および繰延税金資産を計上

- ・保有賃貸不動産の資産価値見直しに伴う減損損失
- ・上記不動産に伴う繰延税金資産を計上
- ・ITTECののれんを減損処理
- ・ITTECの退職給付費用を計上

# 2009年3月期 経営成績

(百万円)

	09/3期	08/3期	前期差額	増減率
売上高	<b>17,172</b>	18,619	-1,447	-7.8%
売上総利益	<b>2,653</b>	3,318	-665	-20.0%
総利益率	15.4%	17.8%	-	-2.4P
販管費	<b>2,588</b>	2,376	212	8.9%
営業利益	<b>64</b>	942	-878	-93.2%
経常利益	<b>114</b>	978	-864	-88.3%
特別利益	<b>19</b>	9	10	111.1%
特別損失	<b>336</b>	28	308	1100.0%
税引前利益	<b>-202</b>	958	-1,160	-
法人税等	<b>-120</b>	383	-503	-
当期純利益	<b>-81</b>	575	-656	-

主に市場環境悪化による

売上減やITTEC赤字案件等による

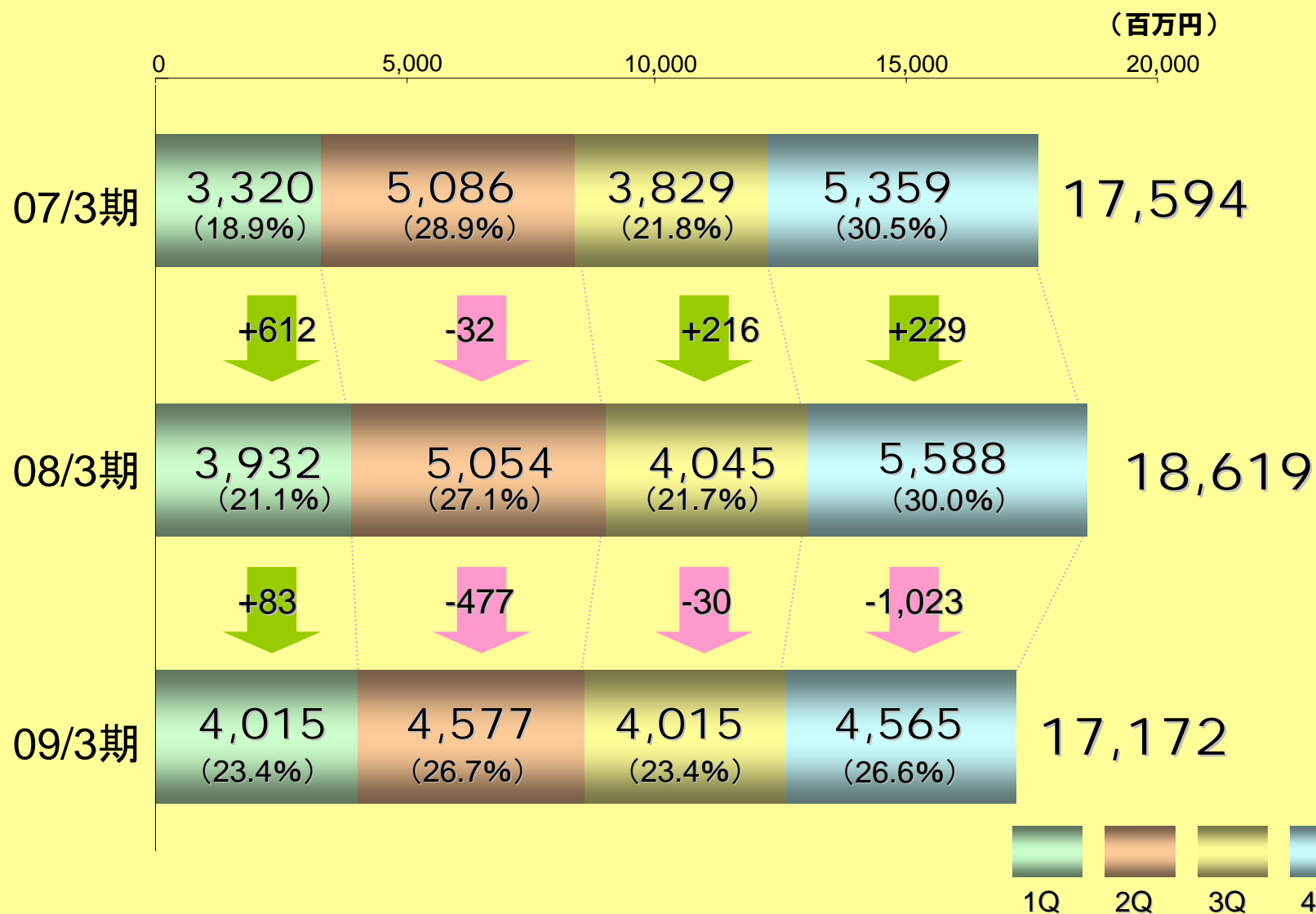
教育・研修費増加、内部統制費用等も

繰延税金資産の計上

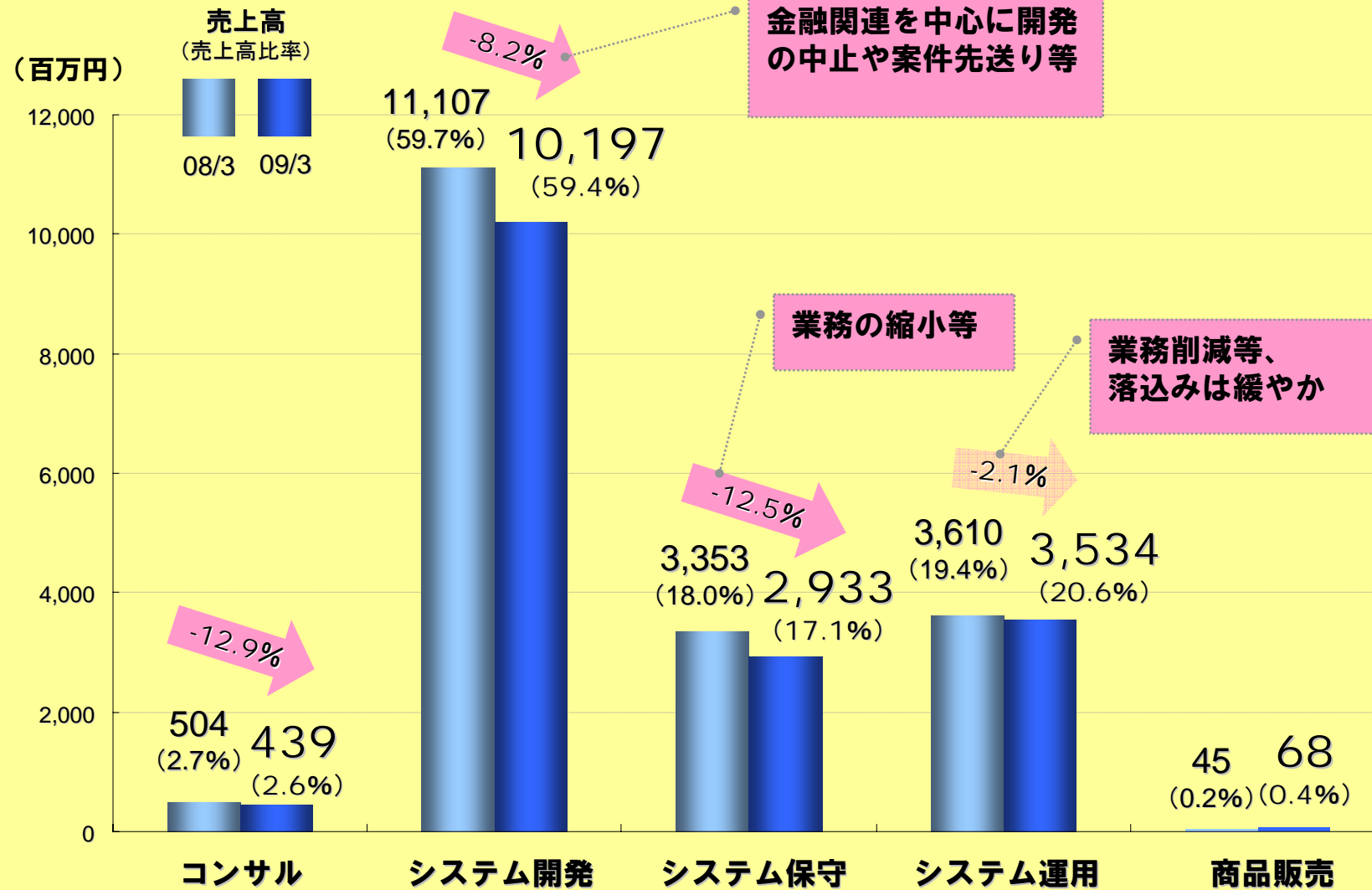
不動産の減損損失および退職給付費用等

※連結子会社：株式会社アイエックスときわテクノロジー (ITTEC)、アイケーネット株式会社

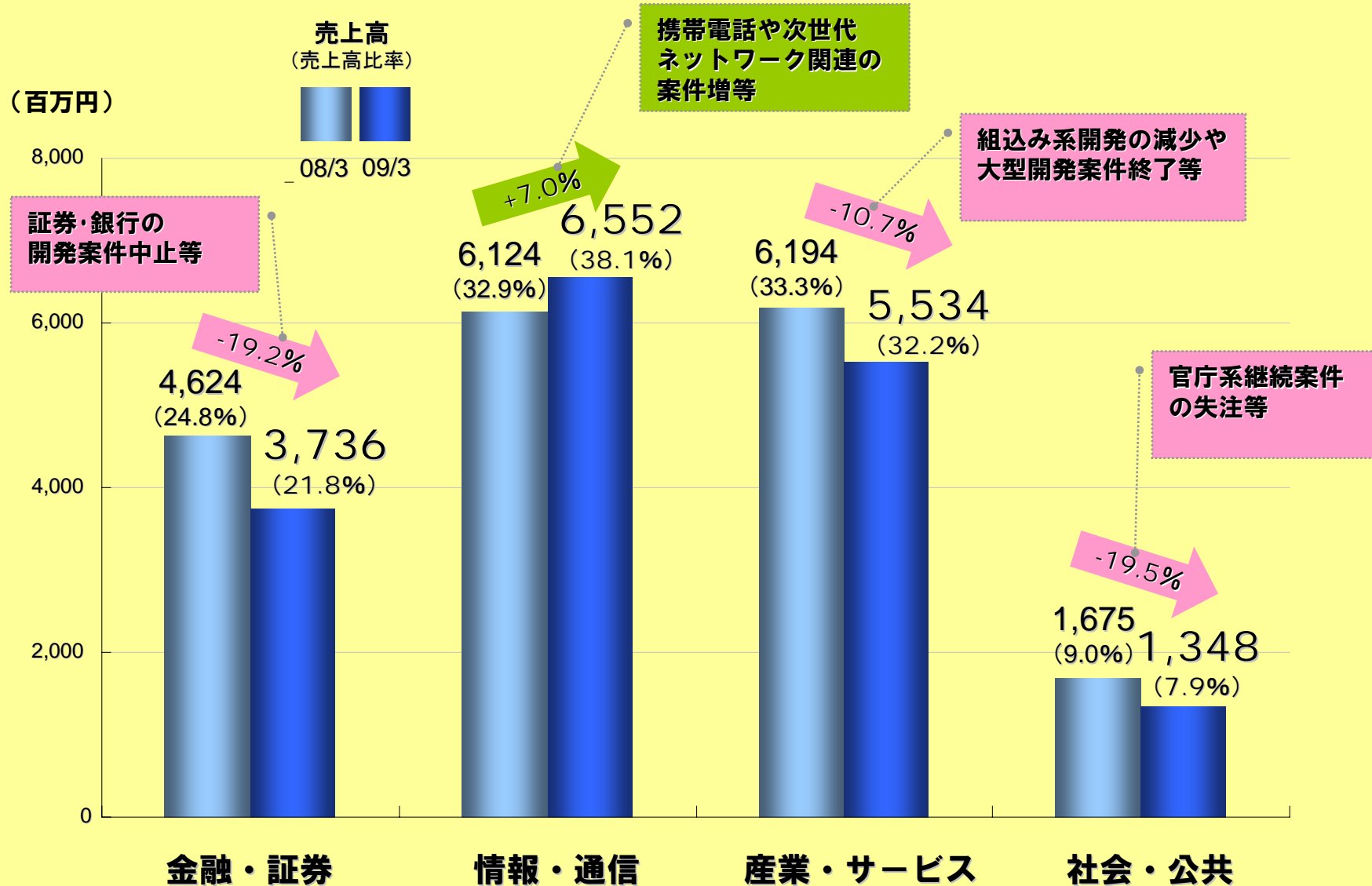
# 売上高の四半期推移



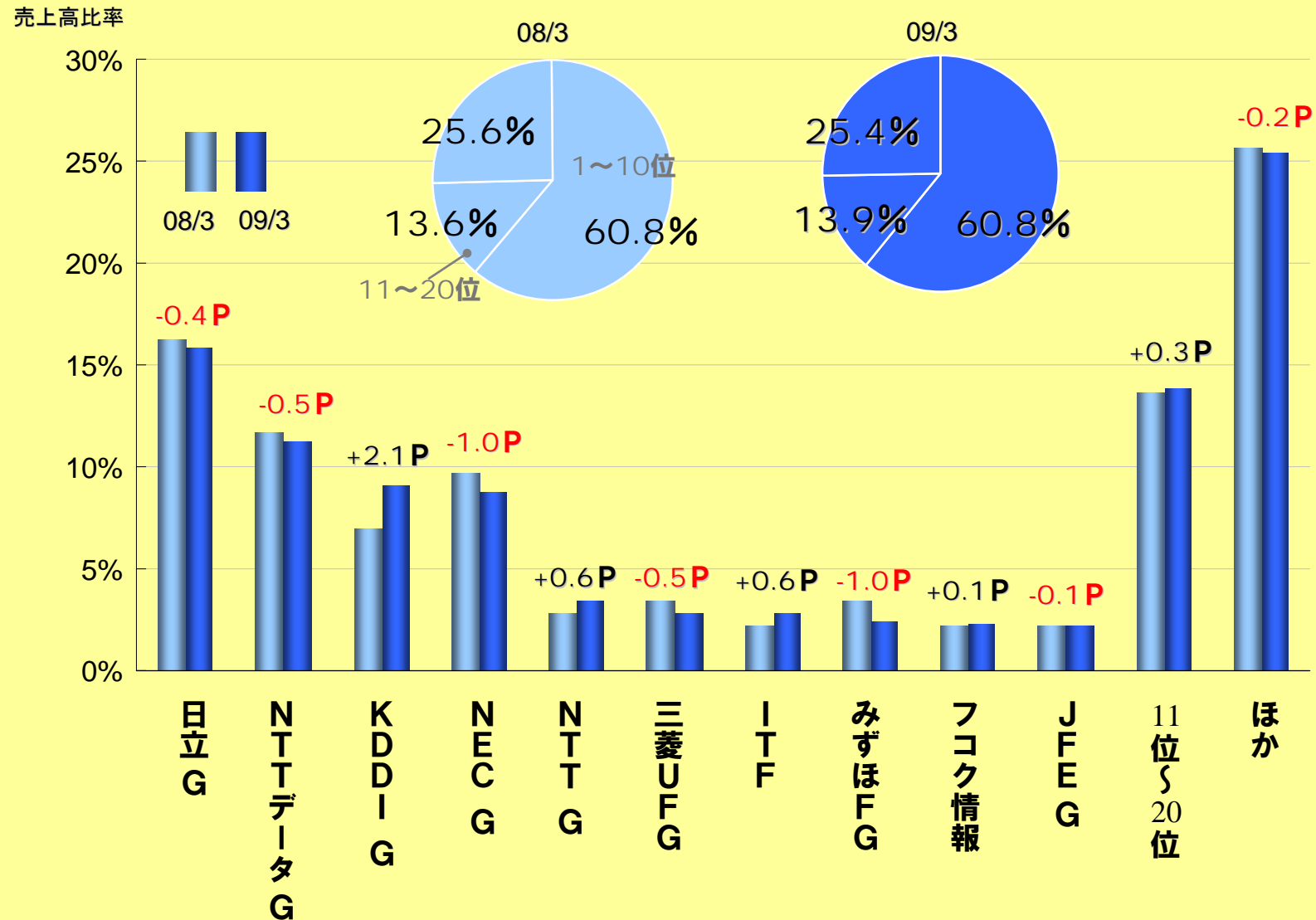
# サービス別売上高



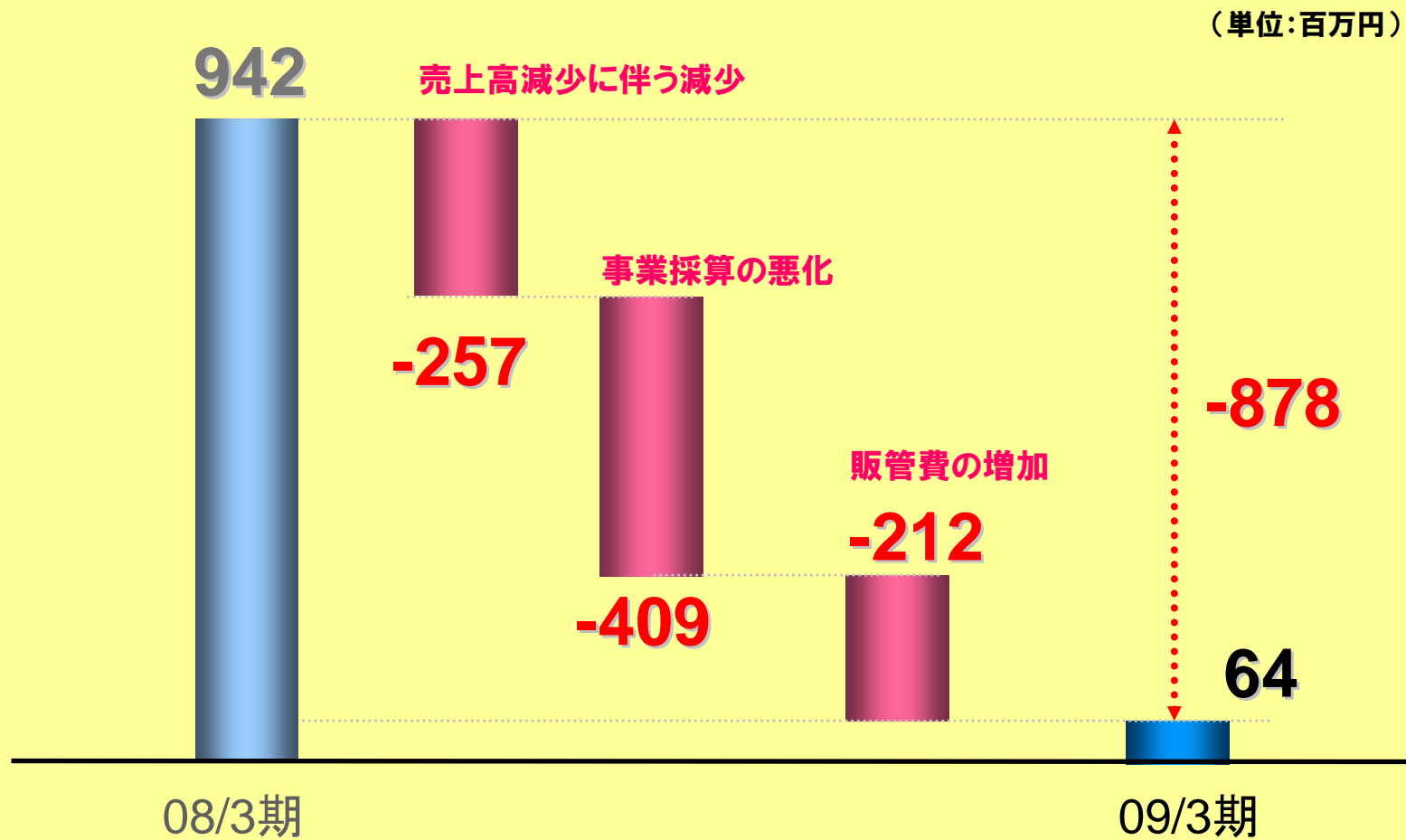
# 市場別売上高



# 顧客別売上構成



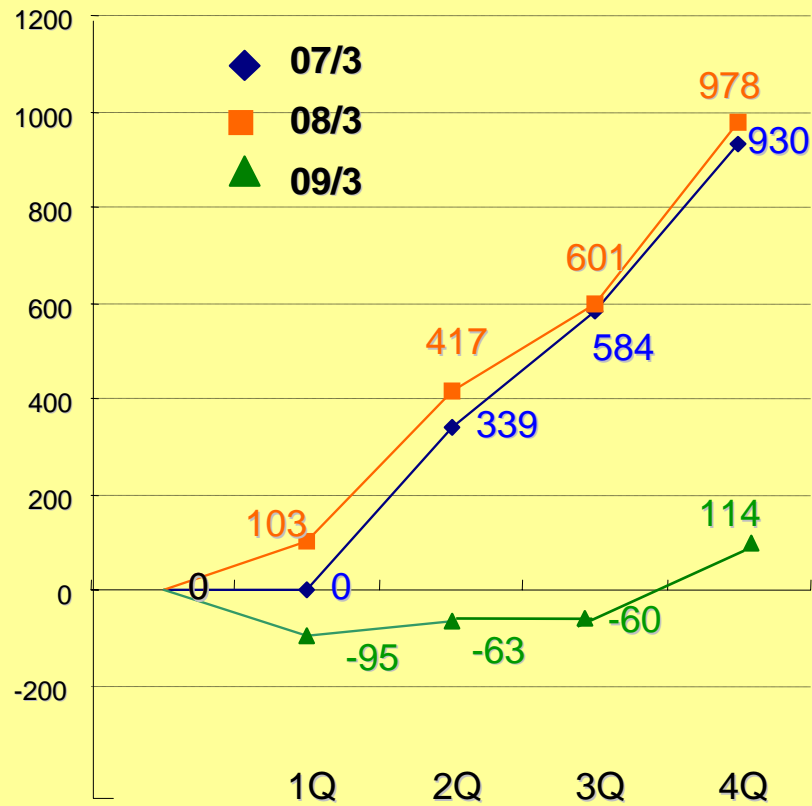
# 営業利益の減少要因



# 利益の四半期推移

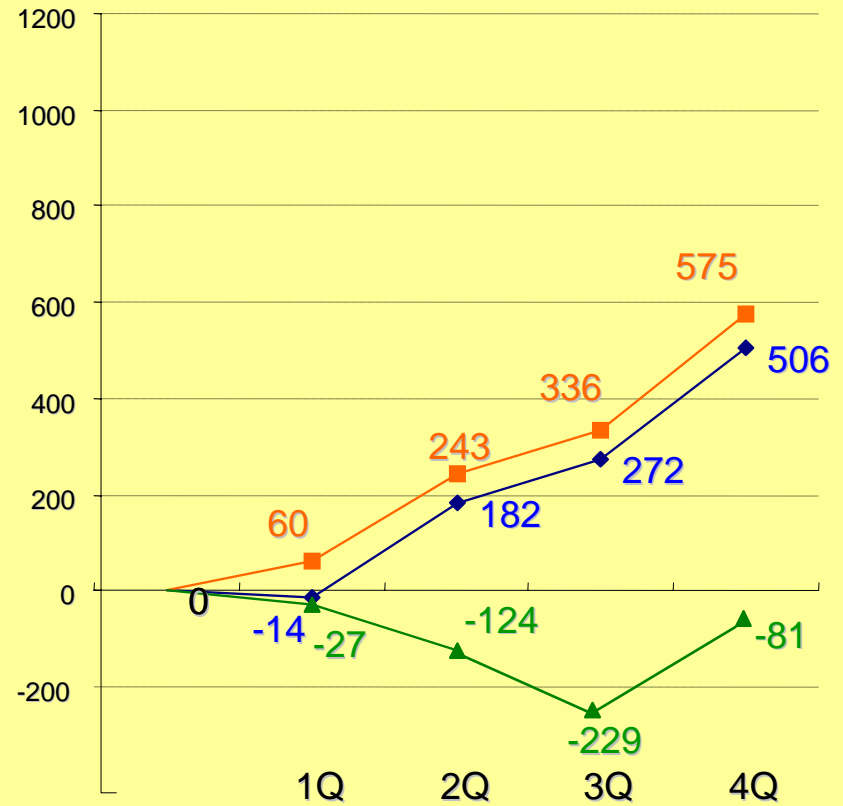
## ● 経常利益

(単位:百万円)



## ● 純利益

(単位:百万円)



# 貸借対照表

■ 2008年3月31日

(単位：百万円)

資産の部	流動資産	負債合計 5,401	流動負債	負債・純資産の部
	6,828 (71.1%)		3,311 (34.5%)	
	固定資産		固定負債	
	2,775 (28.9%)		2,090 (21.7%)	
9,603		純資産合計		9,603
		4,202 <sup>※</sup> (43.8%)		

■ 2009年3月31日

(単位：百万円)

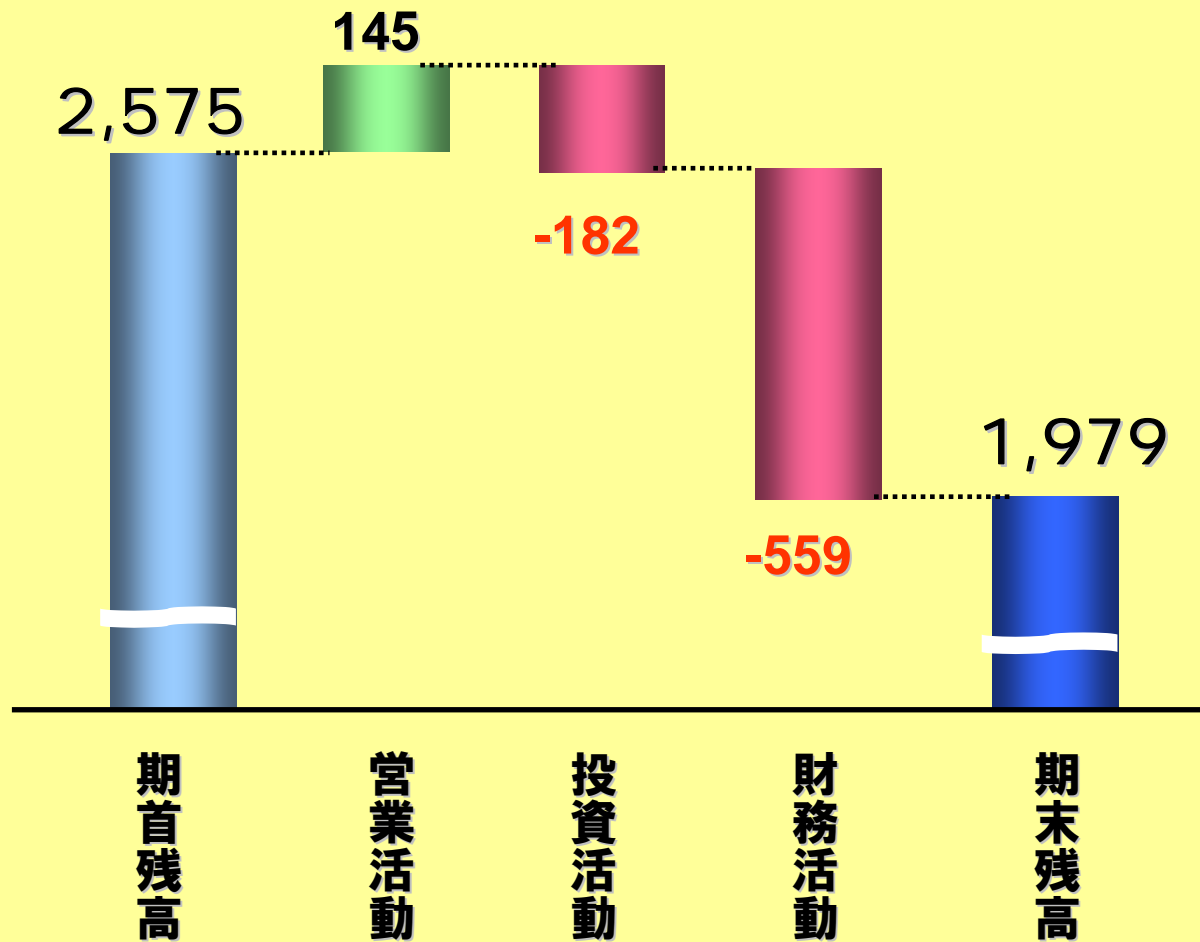
資産の部	流動資産	負債合計 4,703	流動負債	負債・純資産の部
	5,546 (64.8%)		2,340 (27.3%)	
	固定資産		固定負債	
	3,017 (35.2%)		2,363 (27.6%)	
8,564		純資産合計		8,564
		3,860 <sup>※</sup> (45.1%)		

※ 少数株主持分を含む

# キャッシュ・フロー

■08年4月1日～09年3月31日

(単位：百万円)



# 個別企業業績

(単位：百万円)

		売上高	経常利益	純利益
アイエックス・ナレッジ	08/3期	15,705	856	504
	09/3期	14,570	530	9
	増減率	-7.2%	-38.1%	-98.2%
アイエックスときわテクノロジー (ITTEC)	08/3期	2,446	68	42
	09/3期	2,219	-419	-735
	増減率	-9.3%	-	-
アイケーネット	08/3期	792	6	6
	09/3期	510	-22	-24
	増減率	-35.6%	-	-
連結	08/3期	18,619	978	575
	09/3期	17,172	114	-81
	増減率	-7.8%	11.7%	-

※連結子会社：2社、持分法適用会社：1社



**2010年3月期  
業績見通し**

●は子会社、★は新規案件

## 金融・証券

- 証券取引システム維持管理
- 生保系 保険金システム開発等
- メガバンク系 外為システム開発・保守
- 地銀系 共同センター保守
- ★ 銀行系 次期システム開発

## 産業・サービス

- 組込ソフト開発(RAIDなど)
- 自動車部品 生産管理システム開発
- 化粧品 工場新生産システム開発
- 旅行 販売管理システム開発
- ★ 小売 POS端末コールセンターサービス

## 情報・通信

- システム検証サービス
- 携帯電話料金計算システム開発
- NGN(Next Generation Network)
- 衛星通信機関向け販売管理システム構築
- ★ キャリア向けスタッフ管理システム
- ★ WiMAX(無線通信規格)対応

## 社会・公共

- 研究機関 システム運用
- 県警 システム保守
- 博物館 システム開発・保守
- 都市ガス 請求システム維持管理
- 原子力機関向け技術計算等
- ★ 交通関連システム

### ■ 市場環境は前年下期以上に厳しい

金融・証券の回復遅く、通信大手のIT投資も停滞気味

### ■ ミニマムラインの現実的予算を設定

### ■ 赤字案件ゼロでも採算回復は道半ば

### ■ 売上の上積みと効率化がカギ

(単位：百万円)

	10/3通期予想	09/3通期	前期差額	増減率
売上高	<b>15,264</b>	17,172	-1,908	-11.1%
売上総利益	<b>2,516</b>	2,653	-137	-5.2%
総利益率	<b>16.5%</b>	15.4%	-	+1.1P
販管費	<b>2,397</b>	2,588	-191	-7.4%
営業利益	<b>118</b>	64	54	84.4%
経常利益	<b>145</b>	114	31	27.2%
当期純利益	<b>91</b>	-81	172	-

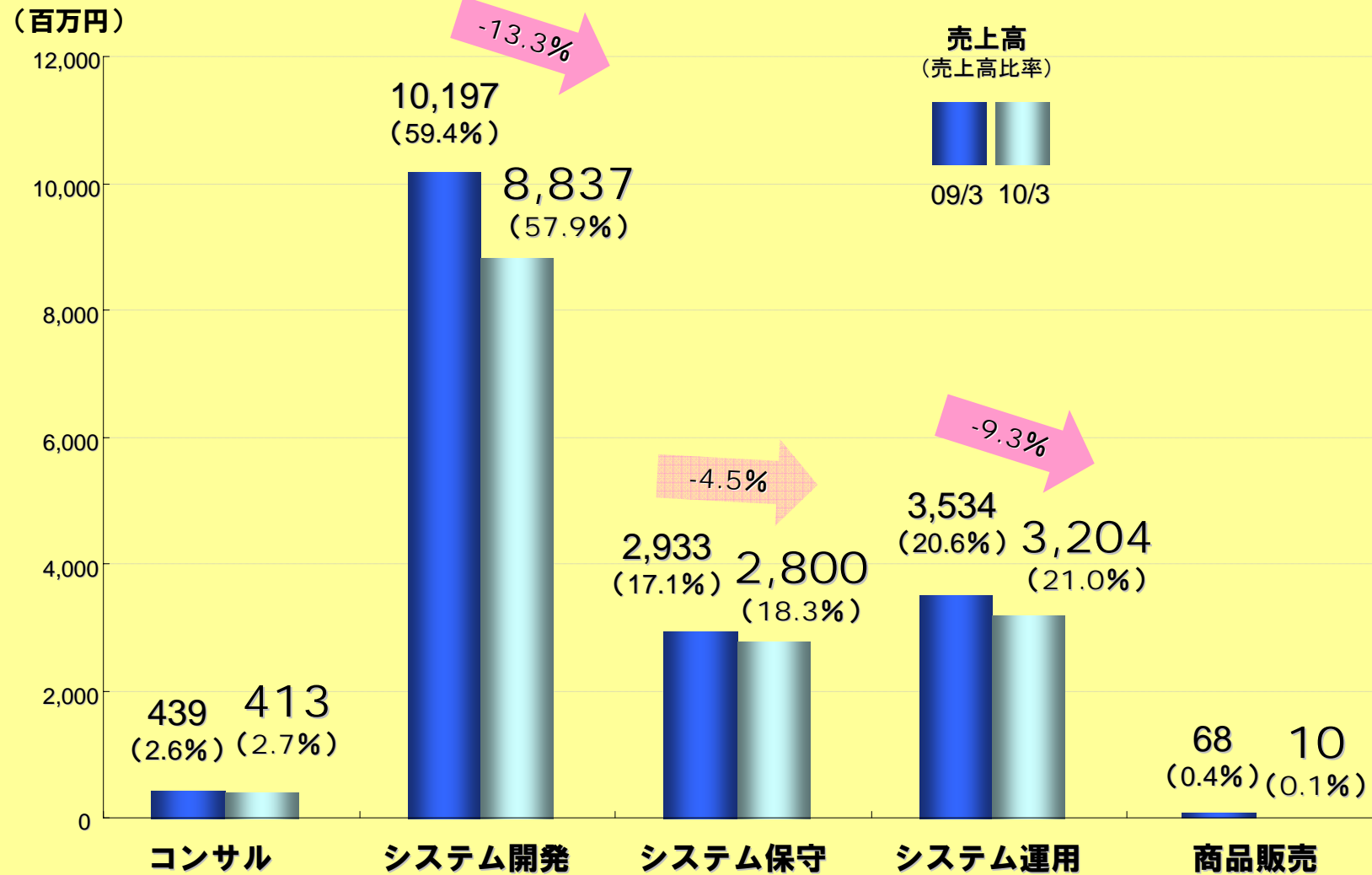
背水の  
ミニмумライン

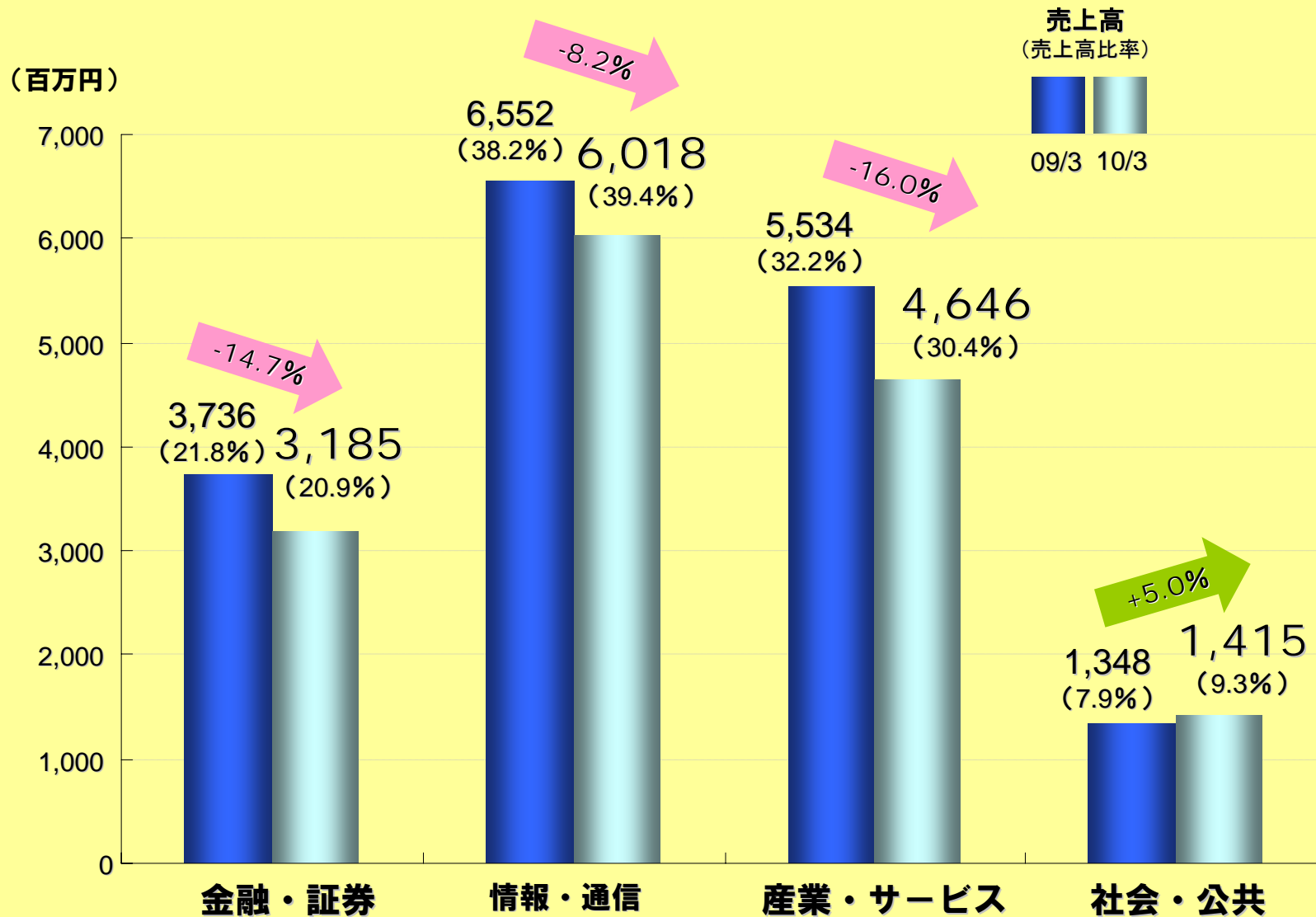
赤字案件撲滅  
採算性向上等

ITTECとの合併  
による効率化等

※連結子会社：アイケーネット株式会社

# サービス別売上





# 予想貸借対照表

■ 2009年3月31日

(百万円)

資産の部	流動資産	負債合計 4,703	流動負債	負債・純資産の部
	5,546 (64.8%)		2,340 (27.3%)	
8,564	固定資産		固定負債	
	3,017 (35.2%)		2,363 (27.6%)	
		純資産合計※		
		3,860 (45.1%)		8,564




■ 2010年3月31日

(百万円)

資産の部	流動資産	負債合計 3,857	流動負債	負債・純資産の部
	5,073 (65.5%)		1,479 (19.1%)	
7,748	固定資産		固定負債	
	2,674 (34.5%)		2,378 (30.7%)	
		純資産合計※		
		3,891 (50.2%)		7,748

※ 少数株主持分を含む



# 今後の重点施策

---

## メリット

- エネルギー関連(原発の科学技術計算等)や  
基盤系・ネットワーク系の技術力を活かす
- 化粧品や都市ガスなど大手顧客を深耕

## 課題

- 組織的な事業連携と営業情報の共有
- 低採算事業部門の人財の有効活用

## 基盤再構築

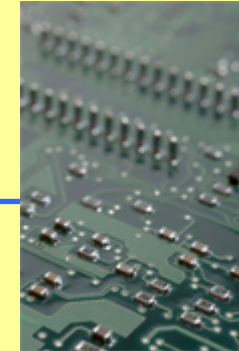
- 受注から納品まで業務品質の向上
- PMなどプロジェクト指導層の充実
- 基盤系・ネットワーク系技術者の拡充
- 実効性ある内部統制の整備推進

## 重点施策

- 営業・開発・PMOの業務連携徹底
- 現場を含む教育・研修の計画的拡充
- 客先現場営業の強化と情報の見える化
- 新規ビジネス・新規サービスの育成

## ■エンベデッド（組込）開発

ストレージや車載製品、デジタル家電、OA機器など、ソフト開発から評価までをトータルのサポートします。



## ■システム検証サービス

システム品質の妥当性を第三者的な立場で確認し、業務要件の実現性・操作性など実運用の適合性をユーザーに代わって検証し、その品質状況をレポートします。



## ■テクニカルサポートセンター

各種システム利用での問合せ・障害などに、オンサイトまたは当社サポートセンターよりリアルタイムで対応します。



## すべてのステークホルダーから「選ばれる会社」へ

多様化する社会の中で、より高いレベルへの変革を目指すお客様に優れた IT ソリューションを提供できるよう、社内の組織・業務システムを、効率的で確実なものとするべくまた技術者の資質・能力向上のため、教育研修にも注力します。また、価値観を共有するパートナーと連携し、事業の「連峰」を組んでまいります。これらの活動から社会全体を含むすべてのステークホルダーから選ばれる会社になりたいと願っています。

**アイエックス・ナレッジ株式会社**